

ゆたかまち  
豊町クローバーサロン

始良市加治木町木田 948 - 1

発表者：秋 宗 郁 子

皆さんこんにちは。

「豊町クローバーサロン」についてお話をさせていただきます。

「豊町クローバーサロン」は、豊町自治会の中にあります。加治木町の西部旧国道 10 号線沿いにあり、加治木養護学校、南九州病院、警察官舎、始良家畜保健所、ダイハツ自動車、キャタピラ九州株式会社などがあります。

人口は 463 人、世帯数は 288 世帯ありますが、自治会加入数は 202 世帯で 70.1%の割合です。高齢者世帯が 63 世帯、高齢者のみの世帯が 20 世帯、一人暮らしは 12 人です。児童生徒数（小学生 32 人、中学生 14 人の）計 46 人です。65 歳未満 367 人で高齢化率は 31%ですが、南九州病院、警察官舎などの 60 世帯を除くと、高齢化率は 44%と約 1 割高くなります。

「豊町クローバーサロン」は、平成 14 年に設立いたしました。年齢構成は、60～64 歳 5 名、65～74 歳 18 名、75 歳以上 16 名で活動し、最高齢は女性で満 91 歳です。

「老後を生き生きと暮らしコミュニティの活性化を図る」ことを活動目的とし、4月に年間活動計画を立てます。定期活動月 3 回、不定期活動年 4 回です。活動において、一人ひとりのハンディを認め合い、無理のない活動で参加しています。



それでは、ここでその一部を紹介したいと思います。年 1 回、福祉バスを借りてバス旅行をします。これは、今年 5 月に桜島よりみちクルーズに行った時の様子です。お天気が良く、足湯や桜島ビジター

センター・防災センターなどを見学しました。

6月、文化祭です。今年で9年目になります。この日のため、一人ではできない陶芸、押し絵、折り紙などの作品作りに10月から取りかかり、お互い協力し合いながら制作に励んでいます。昨年までは高齢者文化祭としておりましたが、今年度は地域の方々にも刺激を与え合い、中学生の作品出展もありました。文化・教育・地域活性化へとつながっていき、豊町文化祭として開催しました。子どもたちの作品に刺激を受け、自分たちも頑張らなければという気持ちになりました。また、例年、町内外からの見学者もみえ、作品の多さや力作にびっくりされているようです。招待もサロンの会員が積極的に行っています。来ていただいた方と一緒にお茶を飲んだり手作りのお菓子をいただきながら、作品についての話などでにぎわい、交流が盛んです。この文化祭が他の地域へも影響を与え、その地域でも文化祭が開かれるきっかけとなりました。



また、この時期「ごきぶり団子作り」をします。お陰で、ごきぶりをあまり見かけなくなりました。皆の評判もとていいです。そして、皆で喜んで作っています。

9月、敬老会の様子です。招待されるだけでなく、自らも歌やハーモニカ、リズム体操などをして楽しんでいます。今年はケーブルTVで放映されました。観てくださった方から、「豊町はいいね」「頑張ってたが〜」「よかったよ」などの感想が会員に寄せられ、それを聞いて会員も喜び、ますます元気が出てきたようです。



10月、加治木看護学校との交流会の様子です。平成15年から続いています。文化祭と同じく9年目になりました。今年は10月5日に豊町公民館でありました。豊町公民館に学生さ



10月、加治木看護学校との交流会の様子です。平成15年から続いています。文化祭と同じく9年目になりました。今年は10月5日に豊町公民館でありました。豊町公民館に学生さ

❀ 活動事例（豊町クローバーサロン） ❀

んたちが来たり、昨年度は私たちが加治木看護学校へ行きました。若い学生さんとの交流は笑いがあり、一緒に歌やゲーム、リズム体操をしてお互いに元気をもらっています。



12月、公民館カラオケ忘年会でした。歌とダンスです。昨年はカラオケ店での忘年会でした。

下の写真は今年の敬老会の練習の様子です。黒い帽子をかぶっていますが、会員手作りの帽子です。

1月、新年会の様子です。歌や郷土カルタ取り、読み手は鹿児島弁でしています。皆、真剣。でも笑顔で楽しみました。楽しく笑顔で暮らすには、健康が何より、それには食育も大切。そこで、10月に、栄養士さんに高齢者の栄養と健康の話をしてもらっています。食生活推進員さんと一緒に皆で、調理実習をして試食するのも楽しみの一つです。また、何より寝たきりにならないようにとの願いから、旧加治木町介護予防事業の中で取り組まれた運動を中心とした12回コースを平成21年4月から6月まで取り入れ、その後自主活動として月2回、はつらつ体操を行っています。

活動する時、皆たくさんの笑いがあり楽しんでいます。はつらつとしていて、あまり年を感じさせません。サロンに参加しての会員の声です。皆でお互い声かけ合って、体操、陶芸、押し絵など



できるのでとても楽しい、一日を早く感じる、お友達ができて気持ちが落ち込まない、皆と会えるので嬉しい、又、毎日あるといいのにといい人もいます。

このように活動を続けてこられたのは、皆が歩いて集える自治公民館があり、いつでも使わせていただけたこと、班長さんを決め、一人ひとりへの声かけ、無理なく各々の体調に合わせて参加し、お互いへの協調性や思いやりがあるからだと思います。地域の人達との交流をもつことで、高齢者の孤独死を防ぎ、悩みを少しでも語り合うことができれば、老後を楽しくいきいきと暮らし、積極的にサロン活動に参加し、世代間交流をしたりして、自治会の

活性化、自治力へと、そしてそれは、コミュニティー作りへとつながっていくのではないで  
しょうか。

今後の課題として、男性の参加、指導者・講師の確保、高齢者のリーダー養成、60歳代  
支援者の養成などがあります。今後、取り組んでいきたいと思えます。

今回、豊町クローバーサロンの発表の機会を与えてくださった関係機関の皆様方に感謝申  
し上げます。ありがとうございました。

これで私の事例発表を終わらせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

